

ハーセプチン 3週 1回 + イリノテカン療法

患者番号： _____ 氏名： _____ 性別： _____
 生年月日： _____ 年齢： _____
 部位； (乳腺 胃)
 薬液注入ルート； (末梢点滴静注、 CVライン ポート)
 開始年月日； _____ 年 _____ 月 _____ 日
 投与間隔； ハーセプチン 1週投与 2週休薬
 イリノテカン 3週投与 1週休薬
 体格； 身長 _____ cm 体重 _____ kg 体表面積 _____ m²
 使用薬剤； ①ハーセプチン _____ mg (初回) 1週投与 2週休薬
 _____ mg (2回目以降)
 (初回のみ 8mg/kg 以後 6mg/kg)
 ②イリノテカン _____ mg 3週投与 1週休薬
 (40-60 mg/body → 100 mg/m² まで増量可能)

遺伝子多型；

※複合ヘテロ及びホモでは減量を考慮

UGT1A1 遺伝子多型 (○をしてください)		*28		
		-/-	-/*28	*28/*28
*6	-/-	野生型	ヘテロ	ホモ
	-/*6	ヘテロ	複合ヘテロ	
	*6/*6	ホモ		

制吐薬 グラニセトロン注 3 mg + デキサート注 3.3 mg

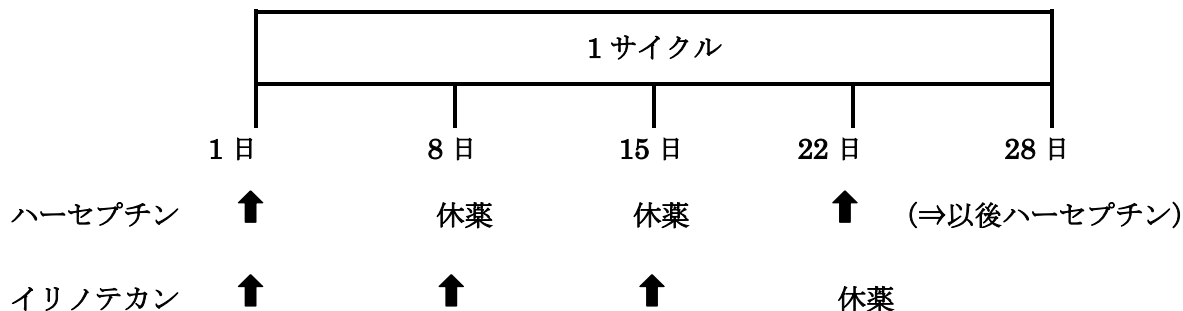
【処方が必要な内服薬】

※初回のみ ボルタレン坐薬 25 mg ハーセプチン開始 30 分前
 ※2回目以降必要時 カロナール (200) 2錠 発熱時
 マグミット 330mg 6錠 3×毎食後 / 3日間
 ウソデキソール酸錠 100mg 3錠 3×毎食後 / 3日間
 重曹錠 500mg 3錠 3×毎食後 2時間 / 3日間

骨髄抑制、アレルギー、心不全、間質性肺炎 infusion reaction に注意

38℃以上の発熱時には投与を延期したほうがよい

E F 値 50%以上が望ましい 心エコー：心疾患有り (6~8週毎) 心疾患無し (12週毎)



□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介

□HBs 抗原(-) → □HBs 抗体(-) and HBc 抗体(-)

□HBs 抗体(+) and/or HBc 抗体(+)

□HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量

□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン _____